

ひがしかがわ

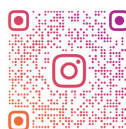
H I G A S H I K A G A W A



主な内容

ハワイの子どもたちが市内の小学生と交流… 2～3
瀬戸内国際芸術祭2025夏会期 迫る!! …… 4～5
戦後80年-記憶をつなぎ、平和を願う- …… 8～9

東かがわ市公式



▲Instagram



▲ホームページ

2025

8

広報 No.269

ハワイの子どもたちが市内の小学生と交流 Welcome to Higashikagawa!



▲引田小学校での集合写真

心つながる、ふるさと体験 東かがわ市で深まる国際交流

6月10日～15日までの6日間、ハワイの日本語学校で学ぶ5～13歳の子どもたち7人と保護者ら計14人が本市に滞在し、市内の3小学校を訪問しました。これは、市教委が推進する国際理解教育の一環で初めてスクールツーリズムとして受け入れたもので、市内の子どもたちにとっては英語教育とふるさと東かがわ市の価値を再発見する貴重な機会となりました。

「心のバトン」

歌とダンスでおもてなし

大内小学校では全校児童が拍手で出迎え、校歌を元氣いっぱい披露しました。ハワイの子どもたちはレイを首にかけ、鮮やかな衣装でフラダンスとハワイ語のあいさつを披露してくれました。



▲ミニ運動会の様子

ミニ運動会では「玉入れ」で一緒に汗を流し、笑い声が体育館いっぱい響きました。ハワイの子どもたちは「日本の子と一緒に遊ぶのは初めてで楽しかった!」と笑顔を見せてくれました。

この日の給食はふるさと給食で、献立はわかめご飯と小あじの三杯酢という純和食。でも「お米やお魚、牛乳もすぐくおしい! 日本の給食がうらやましい!」と感動して完食。ハワイでは見られない「食後にみんなで揃って歯磨き」にも驚きの様子で「文化の違いにびっくりした」と語っていました。



▲給食と一緒に配膳する子どもたち

心を通わせた 英語の授業と剣道体験

白鳥小学校ではハワイの子どもたちが英語の授業に参加しました。普段学んでいる英語を実際にネイティブとやり取りすることで「伝わった!」「通じた!」という喜びが子どもたちの自信につながりました。



▲一緒に日本の絵本を読む様子

剣道体験では木刀を手に、新聞紙を切ることに挑戦。「振るという動作自体が新鮮だった」と話し、楽しみながら日本の武道に触れました。掃除体験ではモップやほうきを持つのも初めてというハワイの子に、日本の子

が優しく教える姿が印象的でした。

「英語を使って友達と話せたのが嬉しかった!」「自分たちの学校文化がこんなに特別だったと気付いた」と白鳥小学校の児童たちは語ります。



▲剣道に挑戦

書道の時間では、うちわに好きな漢字を書く体験を行い、エミちゃんは「咲」など、名前になんだ漢字を自分で選んで挑戦。「持って帰ってお土産にする!」と嬉しそうに話してくれました。

昔遊び体験では、老人会のみなさんとともに、めんこ・お手玉・コマ回しなどを体験。お手玉がうまくできずに泣いてしまった子も。周囲の励ましで何度も挑戦し「やっとできた!」と喜ぶ子どもの姿も印象的でした。



▲コマ回しは難しい

文化の響き合い、手を取り合って

引田小学校では、割れんばかりの拍手でお出迎え。新しく完成したばかりの小中学校の歌「希望の翼」を全校児童が披露すると、ハワイの子どもたちも、お返しにあいさつの歌を披露し、校舎内に温かな拍手が響きました。



▲うまく書けるかな

異文化を超えて「心」でつながる

今回の交流を通して、本市の子どもたちは、英語や異文化に対する抵抗感がなくなり「自分たちのまちはこんなにも魅力にあふれている」と実感しました。

「また東かがわ市にきたい!」「今度は中学生とも会いたい!」とハワイの子どもたちも笑顔で話してくれました。



▲ハワイの子どもが描いた絵日記

みんなの心をつなぐ

「うどん」

市交流プラザでは地域の人たちとうどん作り体験を実施。粉まみれになりながら、自分で切つてゆでたうどんを味わいました。子どもたちはゆで上がるのをまだかまだかと待ちきれない様子でした。



▲2玉も食べた子どもたち



▲笑顔と「またね」が世界をつなぐ

ふるさとを再認識、世界を知る

普段気付かない、当たり前“の風景の中に、日本の良さ・ふるさととの価値が詰まっていることに気付いた子どもたち。異なる文化との出会いを通じて、自分の言葉で、自分のふるさとへの愛を語れる子を育てることが、本市の国際理解教育の願いです。

スクールツーリズムが 広げる未来

今回の受入は、昨年度のオーストラリアでの中学生海外研修でつながった人と、地域活性化起業人としてH・Sから市に派遣をされた職員とのご縁から生まれたもの。

スクールツーリズムの受け入れは、予算面において、新たな負担を生じることなく実施できることから、子どもたちの世界観を効果的に広げられる、新しい形の体験学習として大きな可能性を秘めていると感じました。

問合先

教育総務課

TEL 26-11237

瀬戸内国際芸術祭2025夏会期 迫る!!

開催日 8月1日(金)～31日(日)
作品展示エリア 讃州井筒屋敷周辺

鑑賞時間 10:00～21:00

—地域みなさんにも価値ある 現代アートの祭典に—

●会場周辺でのお願い●

瀬戸内国際芸術祭2025引田エリア周辺(地図参照)では、以下の点について、ご理解とご協力をお願いします。

- ・瀬戸芸来場者の往来が増えることや来場者車両が生活道路に侵入し、日常生活に不便をかけること。

特に土、日、祝日やお盆休みに、混雑することが予想されます。

- ・夜間開場(21時まで)となるため、夜間に人の往来が増えること。

- ・夜間にイベント(パフォーミングアーツ)があるときは、大きい音が出る可能性があること。

- ・つばさ交流センターなどの飲食ブースにおいて、夜間照明の設置や人が滞留してにぎやかになること。

●現時点での受け入れ態勢●

なるべく、地域みなさんにご迷惑をかけないよう、そして来場者が楽しく作品を鑑賞し、地域の良さを感じて帰っていただけるように、県実行委員会と市実行委員会が協力して、来場者の行動範囲を考慮し、おもてなし対応、地域みなさんへの配慮を下記のとおり検討しています。

○引田エリア案内所 つばさ交流センター

○来場者駐車場 旧引田小学校跡地(つばさ交流センター前)

○休憩所・暑さ対策

- ・休憩所はつばさ交流センター、讃州井筒屋敷など8カ所。トイレは休憩所のうち7カ所で使用可能。
- ・つばさ交流センターは、熱中症対策拠点として熱中症対策グッズなどを設置。
- ・案内所では、日傘120本を貸し出し、冷却シートやうちわを配布。
- ・作品展示場所受付にミスト扇風機を設置。

○二次交通

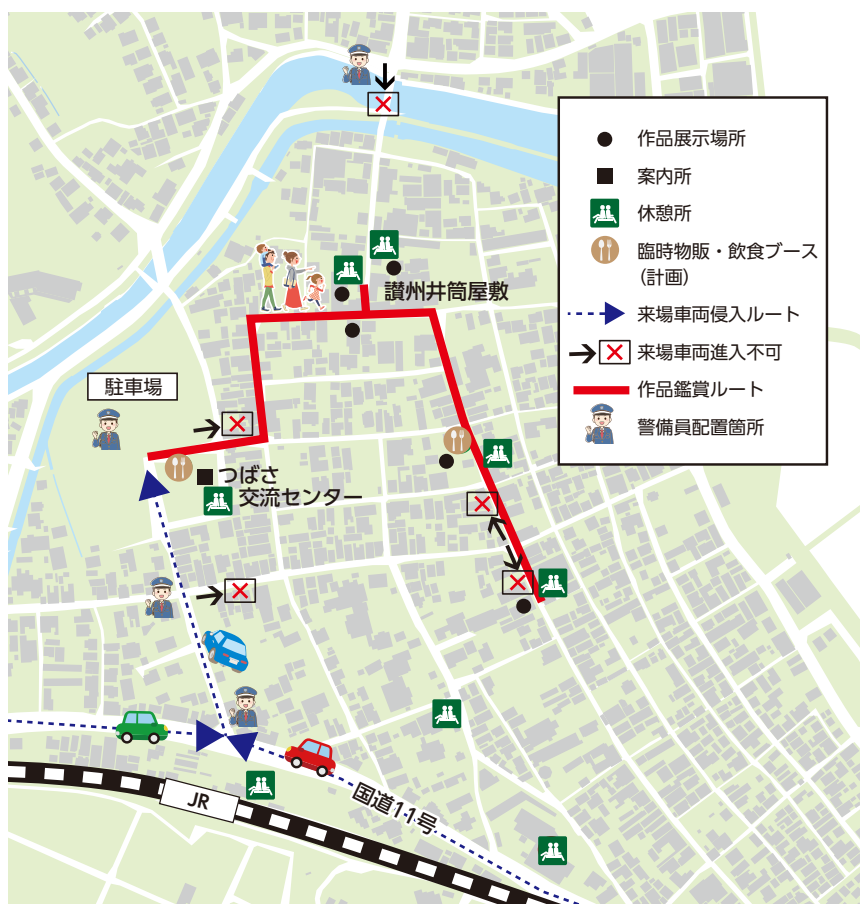
- ・引田エリアとさぬき市津田エリアを結ぶシャトルバス(無料)を運行します。バスで移動中の車中で楽しめる企画もあります(土日祝日のみ、1日6往復)。
- ・小豆島坂手港から引田漁港への臨時便(有料)を運航します(土日祝日のみ、1日1便、夕方の運航)。
- ・電動アシスト自転車によるシェアサイクル(有料)の実証実験を行います。

○食・物販提供

- ・引田エリア近隣の飲食店の情報を発信するほか、つばさ交流センターなどに、臨時の物販・飲食ブースを設置します。
- ・つばさ交流センターでは「ひけた小町屋台村」と称し、屋外にキッチンカーや市内店舗の食の出店を計画しています。屋台村にどんなお店が出店するかは、その日のお楽しみ! 施設内では、東かがわ市婦人団体連絡協議会によるおにぎりの販売や地元産品を並べた物販ブースも設置します。

○来場者車両・来場者の誘導、整理

- ・引田エリア内要所に来場者車両の誘導や来場者誘導・作品展示場所表示看板を設置します。
- ・駐車場整理と交通整理を行う警備員を配置します(土日祝日のみ)。
- ・来場者車両は、国道11号引田駅前の交差点を駐車場方面へ誘導します。



▲市特設サイト

北川フラム(瀬戸内国際芸術祭 総合ディレクター)コラム

東かがわについては、廻船業がベースになっている土地だという知識しかありませんでした。申し訳ありません。

それが讃州井筒屋敷をみたり、手袋ギャラリーに寄ったりしているうちに、引田にある焼杉が貼られた細い路地を囲んで密集している集落と相俟って、さらに地域の人たちの不思議な明るい人柄を知るにつれ、有人島が属していない本土、夏一カ月という期間、高松港から遠いというハンディキャップを超えて、何とか地域づくりに伴走しようと本気になっていきました。市長や議員の先生、行政のスタッフのやる気に導かれていったというのが実のところかもしれません。

大内、白鳥という魅力のある地域がありますが、今回の条件では、讃州井筒屋敷、笠屋邸の元酒蔵、手袋ギャラリーの三カ所に焦点を絞った方が効果的だと思いました。香川大学・東京芸術大学の「瀬戸内海分校 まちづくりプロジェクト ぐんだらけ」も並行しているので、笠屋邸の酒蔵は会議やワーキングが出来、イベントを行う場として使用できないかと考えました。ここの改装にはヨコハマトリエンナーレ2020のアーティストック・ディレクターをやったインドの建築・アートチームのラックス・メディア・コレクティブが快く参加してくれ、実施設計管理には越後妻有の「里山現代美術館」の建築スタッフだった高知在住の沖野優さんが加わってくれました。



▲笠屋邸おかたづけ隊!



▲レオニート・チシコフの作品
制作ワークショップ(手袋編み)



▲レオニート・チシコフからの
ビデオメッセージ

国産手袋の全国シェア約90%を超える手袋生産地の東かがわですが、私はそんな強い産業だったとは知りませんでした。しかし市内に39社(日本手袋工業組合加盟の全国55社中)があり、およそ1070人が家での作業も含めて働いていることを知って驚きました。そのうえ、両児舜礼や棚次辰吉のことは素晴らしい出発の物語です。工場を見学させていただいたり、実際の手袋を拝見して心が躍ります。しっかりした型取りや縫製は勿論、何しろ美しい。母親や親しい人、親類の姪にクリスマスプレゼントに贈ったら、こんな嬉しく喜ばれることはない!と思いました。そのための世界一楽しい、夢がある手袋ギャラリーを作れないか、と夢想しました。

そこでロシア最高の作家の一人でもあるレオニート・チシコフさんに打診しました。彼は素晴らしい現代美術作家であると同時に絵本も作っていますが、何よりも地域に寄り添う愛情があります。世界のいたるところで同じ月の光のもとに世界を結びつけるプロジェクト《僕の月の旅》をやっていますが、その月は万人が仰ぎ見る共通の故郷であり、弘法大師空海さんが思う一つの全体であり個性です。

氏の快諾を得て、伴侶でもあるマリーナ・モスクヴィナさんの参加も要請しました。チシコフさんは無数のスケッチを送ってくれ、マリーナも全14章からなる「てぶくろくん」の物語を書き上げてくれました。この絵本は実に楽しい。建築には東京藝術大学の宮崎晃吉さんとコ・ピンピンさんが加わってくれて、日本手袋工業組合の人たちとの打ち合わせに丁寧に参加してくれています。出来上がりが楽しみです。

手袋は人間にとって大切な、自然とかかわる美しい属性であり、その所作は人間のもっとも美しい表情です。ここからこの厳しい世の中の希望が育つことを望んでいます。

ボランティア活動用飲料を ダイドードリンコ株式会社から寄贈

猛暑が想定される「夏会期」。来場者はもちろん、来場者のおもてなしをいただくボランティアのみなさんへの暑さ対策に万全を期したいと考えています。この暑さ対策にご賛同をいただいたダイドードリンコ株式会社様から、飲料を寄贈いただきました。

6月17日に行われた寄贈式では、同社中四国営業部の梶永貴裕部長から「有効に活用していただき、瀬戸芸が安全に、そして大成功となるよう願っています。」とお言葉をいただきました。

市長からは「海外の人も含めて多くのボランティアが集まる中、さまざまな暑さ対策を展開しますが、熱中症ケアに飲料は欠かせません。いただいた飲料を各種ボランティア活動に役立たせていただき、本市初開催の瀬戸芸を成功させたいです。」と感謝の言葉を伝えました。

寄贈いただいた飲料は清掃活動や会期中のイベントスタッフなどのボランティア活動に活用します。



冷却シートを帝國製薬株式会社から寄贈

帝國製薬株式会社様から「暑さ対策の一助となるように。」と冷却シートを寄贈いただきました。

7月3日に行われた寄贈式では、同社総務人事部の山田雅也部長から「瀬戸芸引田エリアの初開催にあたり、夏会期の暑さ対策として冷却シートをぜひ有効に活用していただき、瀬戸芸が安全に、そして大成功となるよう願っています。」とお言葉をいただきました。

市長からは「夏会期に向けて、さまざまな暑さ対策を展開するうえで、大変ありがたいご支援をいただき、心強く感じています。来場者へ配布させていただき、本市初開催の瀬戸芸を成功させたいです。」と感謝が伝えられました。

寄贈いただいた冷却シートは会期中に案内所で来場者へ配布します。



ニュース東かがわ



紙面で紹介できなかったエピソードや写真を市HPに掲載中

安戸池が育てた、夏のごちそう ブランド生牡蠣「アドミルク」直売スタート！



▲「アドミルク」は卵を作らないため、産卵によって栄養分を失いません。つまり、夏でもおいしいということ

安戸池で育てたブランド生牡蠣「アドミルク」。その芳醇な味わいと高い安全性が評価されつつあるこの牡蠣の直売が、ワーサンで本格スタートしました！

「アドミルク」は、国内でも希少な閉鎖性の海水池「安戸池」で、丁寧に養殖された生食用の真牡蠣です。潮の流れや水質が安定しており、細菌やノロウイルスによる食中毒の発生リスクが極めて低いため、一般的に生牡蠣が避けられる夏の時期にも安心して食べられることが最大の魅力です。そのため、流通量の少ない夏場など1年中、冬場と変わらない高品質な牡蠣を提供できます。夏バテ対策や大切な人への贈り物、自宅でのちよつと贅沢な一品として、東かがわの「海のごちそう」をもっと身近に感じてください。

ワーサンでの直売は土、日、月曜日限定、牡蠣殻をむく用のナイフや軍手などがセットで、価格は12個入り3,900円（1日10セット限定）です。

今後、広報5月号でご紹介した吉鷹地域プロジェクトマネージャーが、アドミルクのブランド戦略を推進中です。東かがわの新たな夏の風物詩を目指す「アドミルク」の今後の展開が楽しみです。

白鳥小児童が県大会で優勝 交通安全こども自転車大会



6月14日、丸亀市で開催された「第58回交通安全こども自転車香川県大会」において、白鳥小学校の代表児童4人が見事、団体優勝を果たしました。この大会は、交通ルールの知識や自転車の運転技術を競うもので、県内各地から選ばれた小学生が参加しています。

4人は、昨年、悔し涙を流した児童。今年は絶対に悔いを残したくないと、自ら出場を直談判し、異例の2年連続出場を果たしました。

「昨年のミスがすごく悔しかった。どうしても、もう一度挑戦したくて。今年は落ち着いてきた。やりきった、って気持ちです！」

その言葉通り、演技後は全員がミスも少なく、晴れ晴れとした表情でした。演技を終えた児童たちは、後の順番の仲間に向けて「がんばれー！」と大きな声援を送っていました。

今回の快挙は、子どもたちはもちろん、支えてきた保護者・東かがわ警察署・交通安全協会など、みなさんの協力の賜物です。

未来の交通安全リーダーたちに、大きな拍手を！

地元企業の魅力、未来を開くきっかけに 中学2年生対象「じもと×しごと発見フェア」開催



6月24日、市交流プラザにて「じもと×しごと発見フェア」が開催され、市内の中学2年生163人が参加しました。

フェアは、市内の企業などを知り、将来を考えるきっかけをつくることを目的に、開催しており、地元での就職につながったケースもあります。生徒たちは市内で活躍する企業などについて学びながら、地元のものづくりやサービスの魅力に触れ、ふるさとで働くことの意味を改めて考える機会となりました。会場には製造業、福祉、サービス業など、さまざまな業種のブースが展開され、自社の強みや働きがい、東かがわで働く魅力について丁寧に説明しました。

「自分の住んでいるまちで、世界に出ている商品が作られていることが驚き。」など、生徒たちからは驚きの声が上がっていました。フェアを通して子どもたちの「未来を描く地図」に地元がしっかりと刻まれた様子でした。

未来の科学者、発明と自然にふれる 東かがわ市少年少女発明クラブ「採蜜体験」



市内で活動が続ける「東かがわ市少年少女発明クラブ」で、毎年恒例となっているニホンミツバチの採蜜体験が行われました。クラブは平成18年の発足以来、県知事賞や源内賞など数々の賞を受賞してきた実力派。科学への興味と地域愛に満ちた活動を続けています。

「おいしい〜」と目を輝かせながら味見する子どもたち。クラブのOBがかつて制作した巣箱には、毎年この時期になるとニホンミツバチの野生群が飛来し、地域の草花から集めた蜜を蓄えます。

子どもたちは8月まで、発明作品の制作を進めていきます。作品づくり終了後は、カラフルキャンドル、プログラミング、ロボット操作体験など、楽しみながら学びます。

指導員からはこんなメッセージが送られました。「失敗じゃなく、その原因があるはず。それを考えてみましょう。失敗をおそれず、やってみましょう」。失敗は発明のもと、子どもたちのこれからの活躍に期待しています。

親子で笑顔ほっこり 和菓子づくり体験

6月8日、本町コミュニティ協議会の主催により、白鳥小学校の6年生とその保護者を対象にした「親子で楽しもう！和菓子づくり」体験会が開催され、柏餅づくりに挑戦しました。講師を務めたのは、市内の老舗「菓子処 六車」の店主・六車さん。

「柏餅を丸めるときは、卵をそっと持つように優しく、手にくっつかないように素早く仕上げるのがコツです。」

「丸めるのが難しい〜」「あんこが出てきちゃったよ〜。」

最初は戸惑っていた子どもたちも、コツをつかむとすぐに上達。和菓子づくりの後は、お抹茶の体験も実施されました。講師の人に教えてもらいながら、茶せんでお茶をたてるなど、お点前（てまへ）を披露する子どもたちの姿に保護者のみなさんも感動しながら写真を撮っていました。

今後コミュニティ協議会では、親子で楽しめる催しを予定しています。ふるさと東かがわの良さを、次の世代へ、手から手へ伝えていきます。



第52回徳島県サッカー少年団大会少女の部で優勝

6月9日、第52回徳島県サッカー少年団大会・少女の部で見事初優勝を果たした上校コア・プエーレのキャプテン、白鳥小学校6年 濱松陽さんが、その報告のため表敬訪問しました。濱松さんはキャプテンとして、13人のチームを一つにまとめあげました。

濱松さんのポジションは攻撃の要となる、トップ下。普段は男子チームに所属し、厳しい練習を通じて技術と精神を磨いており「主将としてチームを初優勝に導けて良かった。秋の全国大会出場に向けてしっかり準備していきたい。今までサッカーを教えてくれたコーチや、チームに感謝の気持ちを忘れず、これからも女子サッカーを盛り上げていきたい。」と力強い言葉をいただきました。

謙虚に努力を重ねる濱松さんの挑戦を応援しています。



東かがわこどもひろば用備品寄贈式

6月9日、公益社団法人 大川法人会の女性部会様から「東かがわこどもひろば」の運営に必要な備品を寄贈いただきました。「東かがわこどもひろば」は、遊びの提供、育児相談、子育てイベントなどを実施するなど、子育て世帯が誰でも気軽に集える交流の場であり、保護者のみなさんから好評をいただいております。

寄贈いただいた備品を有効に活用し、子どもたち、保護者のみなさんが東かがわ市に住んでよかった、東かがわ市で子育てできてうれしいと感じていただけるよう子育て支援を引き続き進めてまいります。



第45回全日本バレーボール小学生大会 全国大会へ出場

6月26日、丹生ジュニアバレーボールスポーツ少年団が全日本小学生バレーボール大会の県大会で優勝し、全国大会に出場することとなり、この報告のため、表敬訪問しました。

丹生ジュニアバレーボールスポーツ少年団は、発足してから45年を迎える、歴史と伝統のあるチームです。チームの長い歴史の中で、今回の全国大会出場は、30年ぶり3度目の出場となります。

得意なプレーは、アタック、サーブ、レシーブと、各々異なっており、苦手なプレーを補完できるメンバー構成が、優勝した要因だと感じました。

初めての全国の舞台、とても緊張すると思います。笑顔を忘れず、楽しんでプレーし、目標の「全国ベスト8」進出できることを願っています。



全国高等学校総合体育大会 バレーボール大会女子の部 全国大会出場

本市在住で高松商業高等学校女子バレーボール部の辻上果さん、楠田利海さん、佐藤千寿さんが、全国高等学校総合体育大会で2年連続、全国大会に出場することとなり、表敬訪問しました。

「夢は広報東かがわの表紙を飾ること。」と力強く語ってくれました。8月5日からの全国大会までに、遠征や四国大会などを控えており、目まぐるしい日々が続きますが、体調管理をしっかり行い、万全の状態での全国の舞台での活躍を期待しています。



戦後80年 ——記憶をつなぎ、平和を願う——



▲当時の子どもたち

今年、太平洋戦争が
終わってから80年という
節目の年を迎えました。

太平洋戦争では、日
本全国で300万人以
上の尊い命が奪われ、多
くの人々が傷つき、生活
が一変しました。東かが
わ市も例外ではなく、
1,600人以上が戦死
し、空襲への不安、物資
不足など過酷な暮らし
が日常にありました。

過去に起きたことを
「自分とは関係のない昔
話」にせず、戦争と平和
の意味を見つめ直す機
会としてほしい…。そ
んな願いを込めて、今月
号では戦時中の暮らし
を知る人の体験談を通
じて、戦後80年という時
間の重みを考えます。

体験者が語る、

戦時中の暮らし



東かがわ市在住 桑島正道さん(88歳)

父親は昭和19年沖縄守備隊として輸送船「富山丸」で移動中、敵魚雷攻撃を受け戦死した。現在、語り部として活動している。

■疎開先の祖母宅へ

父、戦死。そのとき、西宮市の国民学
校(現在の小学校)2年生であった私は、
香川県の祖母宅に縁故疎開することに
なりました。8歳の私にとって家族と離
れての生活は淋しく辛いものでしたが、
それでも空襲がなく、防空壕もない、警
報のサイレンも鳴らない中での生活は嬉
しいものでした。1年後、疎開前に住ん
でいた家は空襲で全焼してしまいました
が、家族は無事逃げ延び、再会できたこ
とは奇跡でした。

■日常から消えた「当たり前」

資源の少ない日本は、戦争が続くにつ
れ鉄や金属の不足が深刻な問題とな
り、物資の面でも国を挙げて総力戦体
制となり、金属類回収令が施行されま
した。家庭の鍋やお釜、看板や橋の欄
干、お寺の鐘や仏具の他、学生服の金ボ
タンや二宮金次郎の銅像までが強制供
出されました。また、敵国の言葉とし
て、音楽のド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ドの
使用が禁止され、ハニホヘトイロハ
を使い、生活・スポーツ・芸術など、すべて
の面で敵性語とされ、使用が禁止されま
した。

■いつもお腹を空かせていた子どもたち

戦争が始まってしばらくすると『欲し
がりません勝つまでは!』と国民には
「我慢」を求めるようになりました。食べ
物はすべて配給制で管理され、十分に食
事を摂ることもできませんでしたので、
食べられるものは何でも食べました。ミ
カンの皮や柿の葉、ナスのヘタやドングリ
なども食べたことを思い出します。雑炊
には、量を増やすためにサツマイモやカ
ボチャの葉や茎まで煮込んで食べまし
た。お米のご飯は食べた記憶がありません。



▲イモ畑になった小学校の運動場

■戦争中の夜は真つ暗だった

空襲のときに消火活動がしやすいように「建物疎開」といって消火活動に邪魔になる建物は強制的に取り壊されました。また、夜は灯が見えて、空襲の目標にならないようにするため、灯火管制で街灯もなく、家の外に明かりも漏らしてはいけないことになっていました。一般の家では黒い布で電灯の周りを覆い、電灯の真下だけを照らしていました。

■仲間との再会を果たせず

疎開前の学校では昼前に、毎日決まって、警報のサイレンが鳴り、子どもたちは一斉に集団下校をする日々が続いていました。一緒に遊び、机を並べていた仲

間には、未だに一人も再会を果たせていません。何年も会えていない仲間、それでも、今でも夢に見るんです。



▲父・出征前日の家族写真
前列右から三番目が桑島正道さん

■今、伝えたいこと

これは私の戦争体験であって、戦争体験というものは各人や地域によっても各様です。私のように父親などの肉親を亡くした人もいれば、空襲の中を生き延びた人、学童疎開を体験した人、満州などの開拓団として移住し、終戦とともに悲惨な体験をされた人もいらっしゃるでしょう。戦後生まれの今の若い世代の人にとっては、教科書でしか知る方法がなく、語り部をする人も高齢となり「戦争」を知る機会は日に日に少なくなっているよ

うに感じます。戦争の話なんて遠い昔かもしれないませんが、当たり前の日常こそ私たちは守る必要があります、そのためには努力をしなければならぬということを中心にどこかに覚えておいてほしいんです。

私たちが当たり前のように過ごす日々は、先人たちの苦勞の上に築かれてきたものです。戦後80年の節目に、一つでもいいから戦争の実態を胸に刻み、平和のありがたさを改めてかみしめる……。その努力や工夫が、次の時代を担う子どもたちの未来につながると信じています。世界ではまだ戦争が続いている国もあります。戦争は良くないと語るだけでなく、まずは「戦争」を知り、平和がいかに大切であり、難しいものか、当たり前の日常がいかに尊いものかを感じ、次の世代につなげていくことが今生きている人の使命だと考えています。



▲慰問袋を作る様子

〈市戦没者追悼式〉

毎年11月の第4日曜日に戦没者の御霊のご冥福を祈り、哀悼の誠を捧げるとともに、世界の恒久平和の実現に向けての誓いを行う「戦没者追悼式」を市交流プラザで実施しています。



〈東かがわ市パネル展〉

本年は戦後80年にあたることから、8月5日(火)～17日(日)に市役所1階ロビーにて高松空襲のパネルの展示や戦争にまつわる品々の展示を行います。

問合せ

福祉課

TEL 26-1228

2025年大阪・関西万博特集

大阪・関西万博において、万博首長連合が主催する催事の「LOCAL JAPAN展」(7月28日～31日)に、大阪府岸和田市・大阪府貝塚市・高知県須崎市と本市の4市で「伝統工芸」を共通テーマに出展し、手袋の縫製技術などのPRとして、実演やワークショップを実施。出展の様子は広報9月号でお届け予定です。

万博での展示などに向けた自治体間の連携

大阪府貝塚市は、だんじり彫刻の木彫り技術を万博でPRするため、4市のコラボ作品を計画。貝塚市の伝統工芸品の「つけ櫛」をモチーフにしたキャラクター「つけさん」の木彫り人形の首元のスカーフを本市職人が作ります。



▲市内手袋事業者と協議する貝塚市職員

万博弁当～手のひらに乗る地域産品の祭典～

LOCAL JAPAN展開催の4日間のみ万博会場内で限定販売される「万博弁当」に本市の食材が採用されました。万博弁当は「食」を通じた自治体の魅力発信を目的とした万博首長連合の企画で、本市からは食材として「かめびし醤油」と「百年はまち」が採用され、かめびし醤油は「亀岡牛の赤ワインすき焼き仕立て」に、百年はまちは「百年はまちの竜田揚げ太子みかんソース添え」に使用されています。

メニューなど詳細はこちら▶



9月7日は防災訓練

9月7日(日)8:30から、南海トラフ地震(震度6強)を想定した防災訓練を実施します。今年は、地震発生から家を出るまでの訓練をしてから、自治会・自主防災組織で決めた避難所に集まり、自治会単位の防災マップと防災冊子を使用して、地震用マイ・タイムラインを作成します。

マイ・タイムラインとは、あらかじめ決めておく防災行動計画で、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のためのものです。

訓練の主な流れ

8:20 告知放送端末「訓練予告」を放送(市から)

8:30 // 「緊急地震速報」を放送(市から)

① まずは身を守る!

地震が発生し、揺れが収まるまでシェイクアウト(1分程度)訓練

② 揺れが収まったら

●台所で火を使っていたら、揺れが収まってから火を消す

●ドアや窓を開けて逃げ道を確認

●家族の安全を確認・避難の準備(避難用持出袋などの点検)

家族の状況を確認。慌てずに落ち着いて、みんなで避難の準備。

●テレビ、ラジオ、スマートフォンなどで正しい情報を確認(家屋倒壊の危険や津波などの危険が予想されると想定)

●出火防止

ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める。可能な限り家電製品などの電源プラグをコンセントから抜く。

③ その後、自治会・自主防災組織で決めた避難所へ移動

●持っていくもの:筆記用具

●避難所施設の安全確認

●避難者名簿を作成し、避難者数を市(危機管理課TEL26-1235)に報告

●自治会単位の防災マップと防災冊子を使用して地震用マイ・タイムラインを作成

※サイレンは鳴らしません。(地震の影響でサイレン吹鳴できない想定です)

シェイクアウトとは、地震の際の安全確保行動



問合先 危機管理課 TEL 26-1235



心のふれあいシリーズ



不正取得を防止するために 本人通知制度の登録を!

本人通知制度とは

「本人通知制度」とは、住民票の写しや戸籍謄本・抄本などの証明書を本人の代理人や第三者(※)に交付したときに、事前に登録した人に対して、証明書を交付した事実を通知する制度です。

※「第三者とは」…本人などの代理人または本人など以外の人(国または地方公共団体の機関を除く)

「本人通知制度」を利用するには

あらかじめ本人通知制度の登録が必要です(登録は無料)

登録方法

●登録できる人 本市の住民基本台帳・戸籍いずれかに記載されている人

●申請場所 市民課各窓口

●必要なもの

- ・申込書(申請場所にあるほか、市ホームページから取得できます)
- ・本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証、パスポートなど)
- ・代理人による申請の場合は、委任状と代理人の本人確認書類

本人通知の対象となる証明書

- ・住民票の写し(除住民票を含む)
- ・住民票に記載した事項に関する証明書(軽自動車登録用は除く)
- ・戸籍謄・抄本(除籍を含む)
- ・戸籍の附票の写し(除附票を含む)
- ・戸籍に記載した事項に関する証明書



個人情報の交付事実を知ること、自分を守ることにつながります。そのためにも、本人通知制度に登録しましょう!

問合先 制度 人権推進課 Tel 26-1227 登録・手続 市民課 Tel 26-1111

人権講演会(大内交流館)

テーマ 『私が笑って育てた子は重度知的障がいに伴う自閉症児と健常児』

内容 自閉症児の次女ゆいなさんの成長段階で心がけてきたことを、母親である由希絵さんがリアルな想いと共に講演していただきます。

日時 8月27日(水) 13:30~15:00(予定)

講師 蓬郷 由希絵(とまごう ゆきえ)氏
(岡山県津山市出身のインフルエンサー)

場所 人権センター大内交流館
(横内732番地)

申込 事前申込不要、入場料無料(定員70人程度)

その他 参加は、市内在住者に限ります



問合先 大内交流館 Tel 25-4349

教育委員紹介

市議会6月定例会で、人事案件が承認され、新たに久保田 富恵氏とみえが教育委員に任命されました。任期は7年6月27日から4年間です。



市教育委員会の構成は次のとおりです。(敬称略)

教育長	松浦 隆夫
委員	山本 勝博
委員	水口 実
委員	久保田富恵
委員	安富 安代

人権教室 「人権の花」運動

6月13日、市人権擁護委員が、東かがわこどもアカデミーの子どもたちと保護者を対象に、人権教室・「人権の花」運動を行いました。

人権教室では「三匹の子ぶた」人権バージョンと題したエプロンシアターを行い、自分や友達を大切にするための気付きやなかまの大切さを一緒に考えました。また、歌や踊りのあと、色とりどりの花の苗を植えました。

「人権の花」運動は、花の苗を植え、協力して育てることによって、やさしさとおもいやりの心を体得することを目的としています。

園庭には、子どもたちの元気いっぱいの声と笑顔が、たくさんのお花とともに咲き広がりました。



人権作品発表会および 人権問題夏季講演会

市内のこども園の園児と保護者、小・中学校の児童・生徒、東かがわ市・さぬき市の高等学校の生徒が、人権についての標語・作文・詩を発表します。

自分の経験や考えを自分自身の言葉で表現し、一人一人の想いが込められた作品発表会をぜひご覧ください。

日時 8月19日(火)

13:30 ~ 16:00

場所 市交流プラザ 2階多目的ホール

入場料 無料 ※申込不要

日程 人権作品発表会(13:35~)

人権問題夏季講演会(14:30ごろ~)

講師 佐倉 智美さん

(NPO法人「SEAN」理事、甲南大学非常勤講師)

内容 「LGBTs」がもうあたりまえの時代の学校づくり

~どの子のありのままを否定しないために~

問合先 教育総務課 Tel 26-1237

問合先 人権推進課 Tel 26-1227

休日当番病医院・薬局

8月3日

泌 まつおか医院 (さぬき)	TEL 52-1888
内 陶山医院 (さぬき)	TEL 43-3008
歯 高橋歯科医院 (さぬき)	TEL 087-894-3388
薬 ひだまり調剤薬局 (さぬき)	TEL 43-1755

8月10日

整 大石整形外科医院 (さぬき)	TEL 52-2107
内 小田内科医院 (さぬき)	TEL 087-894-0305
歯 中山歯科医院 (さぬき)	TEL 087-894-1160
薬 松村薬局みづいり店 (湊)	TEL 24-9131

8月11日

外 ヘキクリニック (さぬき)	TEL 087-894-1371
内 中川内科医院 (さぬき)	TEL 087-894-1253
薬 レディさぬきしど調剤薬局 (さぬき)	TEL 087-894-7234

8月17日

脳内 さぬき市民病院 (さぬき)	TEL 43-2521
歯 安部歯科医院 (さぬき)	TEL 087-894-1161
薬 なの花薬局さぬき店 (さぬき)	TEL 43-0811

8月24日

整 米澤整形外科医院 (さぬき)	TEL 087-894-1266
内 岡病院 (さぬき)	TEL 087-894-5050
歯 歯科しろとりごうだ (白鳥)	TEL 25-9666
薬 ひな薬局志度店 (さぬき)	TEL 087-813-6701

8月31日

整外 内 阪本病院 (川東)	TEL 25-1121
歯 ハロー歯科クリニック (さぬき)	TEL 087-894-8600
薬 松村薬局大内店 (川東)	TEL 26-3211

お盆(8月12日、13日、14日、15日)の大川地区医療機関の診療状況は大川地区医師会ホームページ(<https://www.ookawa-ishikai.jp>)に掲載されています。



歯科診療時間 9:00～12:00

大川地区小児夜間急病診療室 TEL 43-2521 (代表)
さぬき市民病院 19:30～22:00

※休日当番病医院・薬局は予告なく変更することがありますので受診前にご確認ください。

相続無料相談 毎月 サンデーサービス開庁日「相続無料相談」が10周年

市内の税理士2人(田中氏、脇氏)がボランティアで開設している「相続無料相談」が10周年を迎えました。市のサンデーサービスの側面支援も兼ねて、市役所内で月2回無料相談を実施し、10年間で356人の相談者が訪れています。相談者からも「まちの税理士さんとして近くで気軽に、相談者に寄り添った親身な相談をしてもらえる」と喜ばれています。

日時 8月10日(日)、24日(日)(毎月第2、第4日曜日に開催) 10:00～12:00(1人1時間程度)受付は11:30まで

場所 市役所1階

問合先 ボランティア税理士グループ

田中 標 TEL 24-0662 脇 正己 TEL 25-2402

相談情報

司法書士無料相談会 予約可(予約優先)

相続登記などの相続相談、不動産・会社登記相談、身近な法律相談など

日時 8月2日(土)、30日(土) 10:00～15:00

場所 香川県司法書士会館(高松市西内町10-17)

料金 30分無料

問合・予約先 香川県司法書士会事務局 TEL 087-821-5701

よろず東かがわサテライト 要予約

国による中小企業支援事業として、経営の無料相談を行っています。創業・起業支援、金融相談、販路開拓・商品開発、支援機関・補助金活用、ITデザイン分野など、幅広いお悩みに香川県よろず支援拠点の専門家が対応します。

時間調整のため、事前予約を必ずお願いします。(最大4件まで可)

日時 8月7日(木) 9:30～16:00

場所 市役所2階 相談室4

問合・予約先 地域創生課

TEL 26-1276

若者向けのお仕事の悩み・自立支援相談、受け付けます(無料)

「かがわ若者サポートステーション」と連携し、就労をしていない若者を対象とした相談窓口を設置します。

状況に応じた就職セミナーや定着・ステップアップ支援など実績もあります。お仕事のきっかけづくりにご利用ください。本人だけでなく、ご家族からのご相談もお待ちしています。

相談例 「就職活動を何から始めたらいいかわからない」

「卒業・退職後のブランクが長くなってしまった」

「一歩踏み出したいがきっかけが見つけれない」 など

対象 仕事をしていない15～49歳の人またはその家族

日時 8月13日(水) 13:00～16:00(1件につき1時間程度)

場所 市役所2階 相談室4

問合先 かがわ若者サポートステーション TEL 087-813-6077

弁護士による無料相談会 要予約

日時 8月20日(水) 10:30～15:55(12:00～13:00は除く)

相談時間は1人(組)につき40分まで

場所 白鳥社会福祉センター(湊1809)

対象者 市民または市内の事業所に勤めている人

申込 8月1日(金)受付開始 先着6人(組)

受付 9:00～17:00(土・日・祝日除く) 電話予約のみ

問合・予約先 市社会福祉協議会 生活サポートセンター TEL 26-1151

※7年度から、相談の利用は年度内1人3回までとします。

全国一斉「こどもの人権」強化週間～大丈夫 いつでもきかせて 君の声～

全国の法務局では、年間を通じて専用相談電話「こどもの人権110番」を設置しています。

友達からいじめられて学校に行きたくない、家の人に嫌なことをされる、先生や親には言えず誰に相談していいかわからない、誰も気付けてくれない…など、悩みや苦しみを抱えていたら、一人で悩まずに迷わずお電話してください。「周りで困っている」という相談でも大丈夫です。

みなさんのお話を聞いて、どうしたらいいか一緒に考えます。

相談料・通話料は無料、相談内容の秘密は守ります。

強化週間 8月27日(水)～9月2日(火)

時間 平日 8:30～19:00

土・日曜日 10:00～17:00

(強化週間以外：平日 8:30～17:15)

電話番号 0120-007-110(フリーダイヤル)

LINE ID LINE友だち検索で、@linejinkensoudanを友だち登録

相談員 人権擁護委員および高松法務局職員

問合先 高松法務局人権擁護部第一課 TEL 087-821-7850

LINEじんけん相談

アカウント名:「法務局LINEじんけん相談」

検索ID:@linejinkensoudan



GIGAスクール端末

こどもの人権SOSチャット相談

※学校に配備されたGIGAスクール端末から相談できます。



日	月	火	水	木	金	土
サンデーサービス開庁時間 8:30～12:00 コンビニ交付サービス利用可能時間 6:30～23:00					1 4カ月児健診	2
3	4 引田保健センター	5 身体	6	7	8 11カ月児健診	9
10 8:30～12:00	11 山の日	12 身体	13 年 市交流プラザ	14	15 	16
17 	18 大内保健センター 大内保健センター 	19 身体 行 市交流プラザ	20 引田公民館	21 	22 	23
24 8:30～12:00 31	25	26 身体	27 年 大内公民館	28 1歳6カ月児健診	29 妊・乳 大内保健センター	30

各種相談

【総務課】

市民生活相談(常設)

行政相談 9:00～11:00

引田公民館 TEL 33-2533

市交流プラザ TEL 26-1224

人権センター大内交流館 TEL 25-4349

【人権推進課】

人権相談

9:00～11:00

【長寿保健課】

年金相談 10:00～15:00 **要予約**

市交流プラザ

TEL 087-804-0508(高松東年金事務所)

大内公民館

TEL 087-811-6020(街角の年金相談センター)

成人健康・栄養相談 9:00～11:00

要予約 前日まで TEL 26-1360

※開設日以外でも予約で随時実施

骨密度相談 9:00～11:00

(20歳以上、治療していない人)

要予約 前日まで TEL 26-1360

右足踵(かかと)で超音波測定

【こども家庭課】

こども家庭センター(常設)

TEL 26-1229

- ・妊娠や出産、子育てなどの相談
- ・虐待や学校に行きづらいなど困りごとがある子どもとその家庭の相談
- ・ひとり親・女性相談

乳児健診(大内保健センター)

幼児健診(大内公民館)

妊産婦・乳幼児健康相談(妊産婦就学前対象)

9:00～11:30 **※市ホームページから2日前までに予約してください。**

【福祉課】

身体障がい者相談 10:00～12:00

精神障がい者相談 13:00～16:00

要予約 前日まで TEL 26-1228

知的障がい者相談 10:00～12:00

手話通訳設置日 9:00～17:00

遠隔手話サービス 9:00～17:00

その他

【市立図書館】

TEL 25-0696

おはなし会「こそあど」 11:00～11:30

あかちゃんおはなし会 10:30～11:00

【引田図書館】

TEL 33-5551

引田図書館おはなし会 10:30～11:30

各課連絡先

議会事務局

TEL 26-1219 FAX 26-1341

総務部

総務課

TEL 26-1214 FAX 26-1332

財務課

TEL 26-1215 FAX 26-1334

戦略情報課

TEL 26-1201 FAX 26-1210

地域創生課

TEL 26-1276 FAX 26-1366

ふるさと就職推進センター

TEL 26-4145 FAX 26-1366

危機管理課

TEL 26-1235 FAX 26-1320

税務課

TEL 26-1216 FAX 26-1335

人権推進課

TEL 26-1227 FAX 26-1337

市民部

市民課

TEL 26-1111 FAX 26-1330

引田窓口

TEL 33-2500 FAX 33-2508

大内窓口

TEL 25-2111 FAX 25-5300

福祉課

TEL 26-1228 FAX 26-1338

こども家庭課

TEL 26-1229 FAX 26-1209

こども家庭センター

TEL 26-1229 FAX 26-1209

長寿保健課

TEL 26-1360 FAX 26-1339

環境衛生課

TEL 26-1226 FAX 26-1336

事業部

農林水産課

TEL 26-1303 FAX 26-1343

建設課

TEL 26-1302 FAX 26-1342

都市整備課

TEL 26-1304 FAX 26-1344

会計課

TEL 26-1217 FAX 26-1242

監査委員事務局

TEL 26-1223 FAX 26-1332

教育委員会

教育総務課

TEL 26-1237 FAX 26-1340

ふれんど教室(教育支援センター)

TEL 25-6305

生涯学習課

TEL 26-1238 FAX 26-1340

保育教育課

TEL 26-1231 FAX 26-1232

県広域水道企業団東讃ブロック統括センター

TEL 23-7071



歴史民俗資料館
<https://sites.google.com/view/higashikagawa-rekimiin/home>
 時 9:00～17:00 休 年末年始(12月29日～1月3日)、毎週火曜日
 ￥無料 TEL 33-2030

戦後80周年記念展 戦時下の学校と暮らし

内 本年で終戦から80年を迎えます。本企画展では、特に太平洋戦争期の資料を中心に、当時の国民学校日誌・教科書など、市内に伝わる戦争関連の資料を展示します。本展が改めて平和を考えるきっかけになれば幸いです。

展示資料 雑書綴

「買いだめは銃後の護りにそむきます」「勝ちぬく誓」など

時 展示期間 ～9月8日(月) (火曜日休館)



▲昭和19年度
引田国民学校日誌
市歴史民俗資料館蔵



▲昭和17年
引田国民学校奉安殿落成記念絵葉書
市歴史民俗資料館蔵



市交流プラザ
<https://www.higashikagawa-kouryuplaza.com/>
 問 市交流プラザ 開 8:30～22:00
 TEL 26-1224 休 年末年始(12月29日～1月3日)

ウルトラマンオメガショー

内 ウルトラヒーローがやってくる!!

時 8月3日(日) 1回目 開演11:00(開場10:30)
2回目 開演13:30(開場13:00)

所 市交流プラザ 2階多目的ホール

￥無料(入場券必要)

※入場券のお問い合わせは市交流プラザまで

※内容を変更・中止する場合があります



©円谷プロ
©ウルトラマンオメガ製作委員会・テレビ東京



讃州井筒屋敷
<https://sansyuidutsuyashiki.com/>
 問 讃州井筒屋敷 TEL 23-8550
 休 水曜日

「ノルディックウォークまち歩き」

内 引田の古いまち並みでのノルディックまち歩き(無料)

時 8月17日(日) 10:00出発

「ごきげん日曜市」

内 中庭で地元新鮮野菜などを販売します

時 8月3日(日)、17日(日) 9:00～



JOYFIT HAPPY BASE
<https://joyfit-happy-base.jp/>
 時 9:00～22:00(プールのみ21:00まで)
 TEL 24-9250 休 火曜日(祝日の場合、翌営業日)

夏休みもお盆も通常営業!!

ご家族みなさんのお越しをお待ちしています!



安戸池釣り場フィッシュフック
<https://www.saltlake-hiketa.co.jp/>
 問 磯ソルトレイクひけた TEL 33-2800
 時 7:00～16:00

レディースデー 時 毎週金曜日 女性のお客様にエサ券500円プレゼント

夫婦の日 時 8月22日(金) 夫婦、男女のカップルに粗品進呈

子ども無料デー 時 8月23日(土) 保護者同伴の子どもは釣り料金無料(中学生以下)



とらまるパペットランド
<https://www.toramaru.jp>
 問 とらまるパペットランド 休 月曜日
 TEL 25-0055 info@toramaru.or.jp

海外&国内劇団共同創作・特別公演 現在前売りチケット予約受付中!

「パラン ～Puppet of Blue～」

く 韓国交正常化60周年・戦後80周年企画
 アートステージ・サン(韓国)&エーシーオー沖縄(沖縄県)

内 過去と現在が共存する不思議な霧の島。精霊パランと海女の老婆のドラマを幻想的な舞台空間に描きます。

時 8月2日(土) 19:00～、3日(日) 13:30～

￥ 前売 大人1,500円/子ども800円

当日 大人2,000円/子ども1,000円

会員 大人1,000円/子ども500円

※大人料金は高校生以上、子ども料金は5歳～中学生、

3・4歳無料

※3歳未満入場不可



夏休みイベント2025 8月9日(土)～24日(日)

●人形劇場とらまる座 人形劇公演

￥ 700円(3歳未満無料)

「おふろだいぼうけん」・他

人形劇団ひとみ座(神奈川県)

時 8月9日(土)～11日(月・祝) 13:30～



「おおかみゴンノスケの腹ペコ日記」

人形劇団えりっこ(北海道)

時 8月13日(水)～15日(金) 13:30～



「おまえうまそうだな」・他

人形劇団あつけらん(愛知県)

時 8月16日(土)、17日(日) 13:30～



「音曲人形芝居 つき豆ダンゴだるま森」

総合工作芸術家だるま森+えりこ(兵庫県)

時 8月23日(土)、24日(日) 13:30～



各人形劇終演後、劇団員のみなさんが人形劇のフシギを大公開!

●人形劇ミュージアム

ミニパフォーマンス公演

期間中、毎日人形劇の小作品公演があります。何が飛び出すかはお楽しみ。

夏の新作ワークショップ

人気の人形工作コーナーに、新しい仲間が登場!

夏休みの思い出に、工作の宿題に、世界に1つだけの人形を作ろう!

●人形劇場とらまる座定期公演

￥ 700円(3歳未満無料)

「りょう太と鬼の子キバ」～土佐の民話「海に沈んだ鬼」より～

とらまる人形劇団(岡山県)

時 8月30日(土)、31日(日) 13:30～




スポーツ財団
<https://hksz.or.jp/>
 大内スポーツセンター 24-1810 引田スポーツセンター 33-7163
 白鳥スポーツセンター 24-1522

大 とらまる てぶくろ体育館臨時休館について

内 施設の老朽化による改修工事のため、7年度(7年4月～8年3月末)1年間は、臨時休館となり体育館のすべての使用ができません。

ただし、体育館以外のとらまる公園施設は利用できます。

不明な点は、大内スポーツセンターにお問い合わせください。

問 大内スポーツセンター

TEL 24-1810

引 フェンシング教室 生徒募集中!

時 毎週金曜日 18:00～20:00 所 引田飛翔体育館

￥ 4,000円/月 定 小学生以上20人

対 初心者には安全なプラスチック製の剣とマスクを貸し出します。見学のみも可能です!

問 引田スポーツセンター(松浦)

TEL 33-7163

イベントひろば Events HIROBA

第1回ALLかがわにぎわい祭り in 東かがわ市

内 前園真聖氏、カマタマーレ讃岐の選手が来場。一緒にスポーツアクティビティを楽しもう! キッチンカーが大集合、花火の打ち上げなどイベント盛りだくさん!
東かがわ市役所からシャトルバスも発着予定。
時 8月9日(土) 15:00~20:00
所 白鳥中央公園
問 ALLかがわにぎわいづくり実行委員会
TEL 087-887-3280

第4回引田城戦国お城まつり

時 8月23日(土)
内 16:00~16:15 開会式
16:15~17:00 墨絵・紙芝居・古武道演武
17:00~19:00 スタジオFUN 影山長者保存会
19:00~19:30 鉄砲隊演武
19:30~20:00 たいまつ武者行列出陣式
20:00~21:00 たいまつ武者行列
小雨決行 雨天の場合は8月30日(土)
所 旧引田小学校グラウンド駐車場ほか
問 引田城戦国お城まつり実行委員会
TEL 090-8971-8006(安倍)

2025スポーツフォーラム

内 講演「健康寿命の延伸を目指して」
講師 京都外国語大学 准教授 空閑 佐智子氏
時 8月17日(日) 13:30~15:00
(受付13:00~)
所 市交流プラザ2階多目的ホール
申 電話または申込フォーム
問 生涯学習課 **TEL** 26-1238

五名ふるさと祭り

内 盆踊り、歌謡ショー、カラオケ、お楽しみ抽選会、各種バザーなど
時 8月13日(水) 18:30~
問 五名コミュニティセンター
TEL 090-2786-6906(小北)

ライフジャケット講習会

内 ライフジャケットの必要性和正しい着用の仕方などの講習会。(座学のみ)
園庭では、ビニールプールを使って水遊びができます。
時 8月3日(日) 10:00~11:00
所 東かがわこどもひろば(旧本町幼稚園)
対 3歳~小学2年生と保護者
他 予約不要
問 東かがわこどもひろば
TEL 090-2041-7477

珈琲&ギャラリーパルコ 古高松絵画同好会仲間展

内 高松市のコミセンで絵の好きな人たちが集まって作った作品
時 8月3日(日)~22日(金)土曜日休
8:00~16:00 最終日は14:00まで
問 同ギャラリー **TEL** 24-2483

募 市民美術展出品申込募集

内 11月に開催される市民美術展の作品を募集します。詳しくは、各公民館、市交流プラザにある申込票をご覧ください。
申 申込締切 9月12日(金)まで
対 市民または勤務者
問 市民美術展実行委員会 **TEL** 26-1224

募 高等技術学校 10月入校生募集

時 選考日 9月5日(金) 9:00~
所 ①高松校(高松市郷東町)
②丸亀校(丸亀市港町)
対 公共職業安定所長の受講指示または受講推薦などが受けられる人
定 ①造園科30人、デザイン科10人、
②建築施工CAD科15人、金属ものづくり科5人、パソコンCAD科15人、情報ビジネス科22人
¥ 受験料、授業料などは無料、※教科書、作業服などは自己負担3万円~7万円程度(各科で異なる)
申 8月4日(月)~29日(金)
願書受付は、住所地を管轄するハローワーク(公共職業安定所)
他 詳細は、ホームページで確認してください。
①高松校 **TEL** 087-881-3171
②丸亀校 **TEL** 0877-22-2633

募 離職者訓練(公共職業訓練) 7年10月生募集

科 ①ビル管理技術科(15人)
②機械・CADオペレーション科(導入講習付きコース)(5人)
③電気設備エンジニア科(導入講習付きコース)(5人)
訓 ①10月3日(金)~3月30日(月)期間6カ月
②③10月3日(金)~4月28日(火)期間7カ月
時 9:00~15:10
所 ポリテクセンター香川(高松市花ノ宮町2-4-3)
¥ 授業料 無料(テキスト代・作業服代は実費)
申 8月1日(金)~29日(金)までに最寄りのハローワーク職業相談窓口に申し込み
問 ポリテクセンター香川 訓練課 **TEL** 087-867-6716

くらしのワンポイントアドバイス

SNS広告がきっかけの サブスク契約にご注意

SNS広告をきっかけに占いサイトや位置情報検索サイトなどに登録したところ、意図せずサブスクリプション契約となり、解約方法がわからず料金が継続して引き落とされるという相談が寄せられています。運営元が海外の場合、解約手続や問い合わせが英語となるケースもあります。SNS広告から登録する際は、安易に登録せず、事前に利用規約などを確認しましょう。契約後はクレジットカードなどの請求をごまめに確認しましょう。困ったときは消費生活センター(局番なし188)に相談してください。

募 「親御さんのための結婚応援セミナー」 参加者募集

内 かがわ縁結び支援センター(EN-MUSU かがわ)では、地域・結婚支援アドバイザーの板本洋子氏を講師にお招きし、独身の子どもを持つ親御さんなどを対象に「子どもの結婚を応援するために何ができるか」について考えるセミナーを開催します。
時 9月28日(日) 14:00~16:00
所 サンメッセ香川2階(高松市林町)
申 7月18日(金)~9月21日(日)
かがわ縁結び支援センターへ電話またはメールで申し込み
問 かがわ縁結び支援センター
TEL 087-862-1711
✉ k-enmusubi@kagawa.swc.or.jp

知 「ヨメテル」体験登録会

内 「ヨメテル」とは、聞こえない聞こえにくい人のための電話リレーサービスとして、電話で自身の声で通話相手に伝え、通話相手の声を文字で読むことが出来る電話アプリです。すでに「ヨメテル」に登録されている人も参加可能です。
時 8月24日(日) 13:30~
所 県聴覚障害者福祉センター
定 50人
持 スマートフォン・免許証・マイナンバーカード
申 香川県中途失聴・難聴者協会
FAX 087-889-0562
✉ harumi-yuasa@outlook.jp
(氏名・登録希望の有無を記入ください)

知 家族の学習会

内 ほっと一息タイム
時 9月2日(火) 13:30~14:30
所 県大川合同庁舎2階会議室
(さめき市津田町津田930番地2)
対 精神障がいのある人に関わる家族と当事者
¥ 無料
問 県東讃保健福祉事務所 保健対策課
TEL 29-8263

投稿ニュース

写真(データ可)、100字程度の文章、連絡先を23Pの宛先まで。

アジサイと和し16年!

県道122号に沿う市遊休地に、紫陽花や松と楓など植え16年。紫陽花は開花の時期を迎え、松や楓も逞しく育つ。かつて雑草などが生い茂り、不法投棄の醜態。環境整備に着手した会員の心意気を看過すべきでない。

※6月12日の紫陽花
投稿者 西浜さわやか道の会 中川 義博

お盆のごみ収集など



ごみの定期収集

8月11日(月・祝)～15日(金)は、通常どおりごみの収集を行います。ルールを守って当日朝8時までに出しましょう。

大内クリーンセンターへの持込ごみの受け入れ

8月12日(火)～15日(金)は通常どおり行います。(8:30～15:00)
※8月11日(月・祝)はお休みです。

し尿の収集



地区名	業者名	連絡先	休業期間
引田地区	(有)引田清掃	Tel.33-5328	8月13日(水)～15日(金)
白鳥地区	(株)大川クリーンネット	Tel.52-2701	
大内地区	(有)大内衛生	Tel.25-2917	

お盆前後は、収集依頼が多いため、通常より収集が遅れる場合があります。し尿収集を希望の場合は、早めに各収集業者まで申し込んでください。なお、収集業者により休業日が異なりますので、ご注意ください。

〈夏場のごみ対策ポイント！〉

夏場は、生ごみが腐敗しやすく、悪臭や害虫が発生する原因となります。
また、清涼飲料水やビールなどの消費量が増加し、大量のペットボトルやアルミ缶がたまります。

ポイント1 ごみの臭いを抑えるには、水切りを十分に行う!

一般家庭のごみの約3分の1が生ごみで、その生ごみの約80%が水分です。生ごみの水分が多いほど、腐敗が早まり悪臭の原因となります。流し台の三角コーナーや排水口に水切りネットを設置し、十分に水気を取ってから小さなビニール袋に入れ、口を縛ってこまめに捨てましょう。その際、ごみを新聞紙やチラシなどにくるんで袋に入れると、水分を吸収してくれるので衛生的です。

また、電動生ごみ処理機を活用することも有効です。購入費に対する市からの補助金もあります。
ごみの水分を減らすことで、焼却や運搬時の燃料が抑制され、経費の節減や地球温暖化の防止にもつながります。

ポイント2 ペットボトルや缶・ビン、は、洗う!

ペットボトルや缶・ビンは、中身を処分し、洗浄と水切り・乾燥をすると、臭いや容器のべたつきもなくなります。

- ①ペットボトルは、洗浄後ラベルをはがして出す
- ②油脂類の入っていたペットボトルで、きれいに洗浄できない物は、可燃ごみとして出す
- ③缶・ビンは、キャップを外し洗浄する(ラベルをはがす必要はありません)

ポイント3 ごみを減らす!

- ①食事はできるだけ残さず、きれいに食べる
- ②冷蔵庫を常に満杯にするのではなく、今ある食材を先に使う
- ③洗剤やシャンプーなどは、詰め替え用を利用する

ごみの出し方の工夫には、他にもたくさん方法があります。
夏場を楽しく、自分も周りの人も気持ちよく生活できるよう工夫しましょう。



生ごみ堆肥化容器等
購入費補助制度

●動物遺棄は犯罪です

市内で犬猫などの遺棄による収容事案が発生しています。
愛護動物を虐待したり、捨てたりすることは犯罪です。違反すると拘禁刑や罰金に処せられます。
愛情と責任を持って、動物を正しく最後まできちんと飼いましょう。
動物を捨てている人や、捨てられた動物を見つけた場合は、東かがわ警察署または環境衛生課までご連絡ください。

また、市では犬や猫の望まない繁殖を防ぐことを目的として、飼い犬・猫に不妊去勢手術を行った人に対して、その費用の一部を補助していますので、ぜひご活用ください。

飼い主のいない猫の繁殖を防ぐため、4月から不妊去勢手術費用の一部を補助しています。事前申請が必要ですので、ご相談ください。



犬猫不妊去勢手術費補助金



飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金

問合先 環境衛生課 Tel. 26-1226

人生会議してみませんか？

東かがわ市・さぬき市・大川地区医師会で「もしものときの終活支援ノート～人生会議のすすめ～」を作成しました。

人生会議って何？

誰でも、いつでも、命に関わる大きなけがや病気をすることがあります。

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼できる人たちと話し合い、共有しておくことを人生会議(ACP)といいます。

これらのことについて、【終活支援ノート】に書き記しておくことにより、大切にしたいことややりたいことが少しずつ整理でき、これからの人生を充実して過ごす一助にできます。

配布先

大川地区の医療機関、薬局、介護関係機関、公共機関などにあります。

大川地区医師会在宅医療介護連携支援センターのホームページでダウンロードも可能です。



問合先 長寿保健課 TEL 26-1360

「住み慣れた場所で、自分らしく生きる」講演と上映会のお知らせ

人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、講演と上映会を開催します。自身や家族の「看取り」について考えてみませんか？



日時 8月31日(日)

13:20～15:50

受付13:00～

場所 市交流プラザ 2階多目的ホール
プログラム

13:20～講演

演題 「住み慣れた場所で、自分らしく生きる～訪問看護の経験から～」

講師 訪問看護ステーション絆

看護小規模多機能型居宅介護 ナースホーム絆
所長 山下 由奈氏

14:00～上映会「ピア まちをつなぐもの」

在宅医療に懸命に取り組む、若き医師と仲間たち
～命と希望の物語～最期の願いは、僕たちが支える

参加費 無料

申込み 8月1日(金)～8月22日(金)

申込先

大川地区医師会在宅医療介護連携支援センター
TEL 42-3424 FAX 42-3460
申し込みはこちら▶



◆市立図書館 特別展

「～日本が誇る35の国立公園～日本の国立公園を見てみよう!」

「～夏休み企画～四国のいきもの展」

日本が誇る35カ所の国立公園の中から、厳選した各地をクイズと共に紹介します。四国で出会えるいきものたちを写真と共に紹介する「四国のいきもの展」も同時開催します。

環境省のアクティブレンジャーによるミニ講座、ギャラリートークもあります。

日時 8月1日(金)～8月30日(土)

場所 市立図書館 くつろぎの部屋

主催 環境省高松自然保護官事務所

夏休みミニ講座

「みつけよう! いきものたちのフィールドサイン」

四国に生息するいきもの足跡や餌を食べた跡、ふんや骨など、そこにいきものがいた証拠「フィールドサイン」を見てみよう! 昆虫の抜け殻や動物の骨などの触れる標本や、マグネット缶/バッジ作りコーナーもあります。

日時 8月6日(水) 10:00～11:00

場所 市立図書館 研修室

対象 小学生から大人まで(※未就学児も参加できます。小学3年生以下は要保護者同伴)

定員 16人

事前申込必要。7月19日(土)9:00～

2次元コード、電話、直接来館でお申し込みください。

ギャラリートーク

「日本の国立公園を見てみよう!」

日時 8月6日(水) 11:10～11:30

場所 市立図書館 くつろぎの部屋

事前申込不要。開催時間までに会場にお越しください。



みんなの図書館

市立図書館

TEL 25-0696

時 (平日) 9:00～19:00

(土日祝) 9:00～17:00

休 月曜(祝日の場合翌日)

月末・年末年始



◆8月のおすすめ特集コーナー

●市立図書館

「同和問題」

8月は同和問題啓発強調月間です。人権推進課と共催で同和問題について考える本を特集します。「同和問題とは」「差別とは」について考えてみませんか？

●引田図書館

「芸術に親しもう!」

瀬戸内国際芸術祭2025の開催地に、新たに引田エリアが加わりました。

そこで、より芸術に親しんでいただけるよう、引田図書室では芸術に関する本を集めています。ぜひお立ち寄りください。

葉っぱ切り絵アーティストとして活躍されるリトさんが作り出した71作品を紹介しています。身近な自然を取り込んだ繊細なアートに驚き、小さな葉っぱから生み出されたいきものたちの物語に笑みがこぼれます。

おすすめ1冊



「葉っぱ切り絵いきものずかん」
リト@葉っぱ切り絵/著
講談社エディトリアル/編 講談社

●交流プラザ図書コーナー

「ハラスメント特集」

あなたが日常で感じる「モヤモヤ」、実はハラスメントかもしれません。無意識のうちに加害者になる可能性もあります。ハラスメントの関連書籍を紹介していますので、ぜひ一度読んでみませんか。

引田図書室 TEL 33-5551

時 (平日) 9:00～18:00 **休** 火曜(祝日の場合翌日)
(土日祝) 9:00～17:00 年末年始

交流プラザ図書コーナー TEL 26-1224

時 9:00～17:00 **休** 年末年始
臨時休館あり

歴史民俗資料館図書コーナー TEL 33-2030

時 9:00～17:00 **休** 火曜(祝日の場合翌日)
年末年始

募集

介護職員初任者研修受講生募集

介護の基礎から応用までを学ぶことができます。介護職のスタートとして位置付けられている研修です。

定 15人(希望者多数の場合は、ご希望に添えないことがあります)

¥ 3万円(テキスト代込)

対 市内在住の介護職就職希望者(既就職者も可)など

所 市交流プラザ、大内公民館

時 10月4日(土)～2月14日(土)(毎週土曜日計16回)

申 申込期限 8月29日(金)

申込書に必要事項を記入の上、申込先に提出してください。

問 長寿保健課 **TEL** 26-1360



募集

視覚障がい者へのIT支援ボランティア養成講習会

視覚障がい者のIT活用をサポートしてくださるボランティアを養成します。

時 ①10月9日(木)13:30～16:00
②10月16日(木)10:00～16:00
※全2回

所 県視覚障害者福祉センター

対 基本的なパソコンの操作が可能で、視覚障がい者へのIT支援ボランティア活動に参加できる県内在住の人

¥ 無料

定 2人(多数の場合は選考あり)

申 電話、FAX、メールのいずれかで申し込み
①氏名②住所③生年月日④電話番号⑤パソコン利用経験年数⑥普段パソコンをどのように利用しているかをお知らせください

申 申込期限 9月18日(木)

問 県視覚障害者福祉センター

TEL 087-812-5563 **FAX** 087-861-1566

✉ k.shikaku@beach.ocn.ne.jp

(開館時間 9:00～17:00 休館日 土曜日・祝日)

募集

東かがわ市職員募集【第二次募集】

8年4月1日採用予定の職員採用試験を次のとおり実施します。

試験区分・採用予定人数

①一般行政事務(高校卒) 1人程度
②一般行政事務(土木卒) 2人程度
③一般行政事務(デジタル卒) 2人程度

募集要項公開開始 7月31日(木)

募集要項の配布場所
市民課各窓口・ふるさと就職推進センター・市交流プラザ
※市ホームページ
(市政情報・人事・採用・職員一職員採用)から閲覧可能

申込受付 インターネットによる申し込み

申込受付期間
8月15日(金)～9月5日(金)まで

第1次試験
録画面接試験、筆記試験、作文試験
※詳細については募集要項をご確認ください。

第2次試験
第1次試験合格者に別途案内予定

問 総務課 **TEL** 26-1214



募集

市営住宅入居者募集

市営住宅一覧

大川団地1階※ 間3DK	所 引田298番地 ¥ 18,000～41,300円
大栄団地2階※ 間3DK	所 引田310番地1 ¥ 15,500～35,700円
山下団地2階※ 間3DK	所 湊1183番地3 ¥ 19,400～44,700円
中筋団地2・3階※ 間3DK	所 中筋482番地2 ¥ 19,500～45,300円
横内下第2団地3階※ 間3DK	所 横内591番地 ¥ 19,300～44,400円
花園団地※ 間4DK(2階建て)	所 横内816番地 ¥ 13,500～31,000円
宮脇団地 間3DK(2階建て)	所 吉田500番地4ほか ¥ 12,900～19,200円
横内西団地 間5DK(2階建て)	所 横内789番地1 ¥ 16,200～24,100円
横内南団地 間5DK(2階建て)	所 横内932番地 ¥ 16,300～24,200円
大川団地(特公賃)2階 間3DK	所 引田299番地21ほか ¥ 40,000～55,000円
山下団地(特公賃)2・3階 間3DK	所 湊1183番地3 ¥ 50,000～65,000円
中筋団地(特公賃)1・3階 間3DK	所 中筋482番地2 ¥ 50,000～65,000円
ヤングハイツ小海1・2階※ 間2LDK	所 小海1331番地1 ¥ 24,000円
ヤングハイツ引田1・2階※ 間2LDK	所 引田299番地7 ¥ 24,000円
ヤングハイツ山の上2階※ 間2LDK	所 南野595番地1 ¥ 24,000円

※ヤングハイツは、単身者(40歳未満)も入居可能です
◎駐車場使用料2千円(1台/月額)
◎共益費 ◎要件を満たした連帯保証人1人
◎家賃3カ月分の敷金

災害などが発生した場合には、緊急に住宅の募集を中止することがあります。

※入居資格、必要書類、間取り例などは市ホームページで確認または都市整備課にお問い合わせください。

受付期間 8月1日(金)～14日(木)
8:30～17:15(土・日・祝は除く)

受付場所 都市整備課、市民課各窓口

その他 申し込み多数の場合、公開抽選を8月19日(火)13:30から市役所南棟3階相談室7で行います。

※4月から、市営住宅(一部住宅と特公賃を除く)の入居資格を一部改正しました。改正内容は次のとおりです。



入居資格	同居する親族	収入要件
改正前	原則必要	月額15万8千円を超えない
改正後	不要	月額25万9千円を超えない

問 都市整備課 **TEL** 26-1304

お知らせ

すくすく教室 (育児教室)のお知らせ

子育てがより楽しくなるヒントを一緒に探してみませんか？

①講話

食べることを大好きに

離乳食から幼児食へのすすめ方

ミニ講座

知っておきたい子どもの病気と事故予防

★ベジメータ®による野菜摂取量測定。
野菜摂取ランクに変化はあったでしょうか？チェックしてみましょう！

日時 8月19日(火) 10:00～11:30

受付9:40～9:55

講師 市栄養士／市保健師

締切日 8月14日(木)

②講話・実習

災害時に子どもを守るために
～身近なもので災害時に役立つものを作ってみよう～

日時 9月2日(火) 10:00～11:30

受付9:40～9:55

講師 日本赤十字社香川県支部

山本 真紀先生

締切日 8月28日(木)

(共通)

所 白鳥社会福祉センター2階和室

対 0～2歳児と保護者

持 母子健康手帳、飲み物、バスタオル
(9月2日(火)は新聞紙1日分、
フェイスタオル2枚、風呂敷または
スカーフ2枚をお持ちください)

定 20組程度、保護者のみの参加も可能

申 電話またはFAXで、こども家庭課に
お申し込みください

問 こども家庭課 TEL 26-1229

FAX 26-1209



手話を覚えてみませんか

日常生活で使える手話を紹介します。
みなさんも一緒にやってみましょう！

歌う
“sing”



立てた右手
2指を口端から
小さな円を
描いて前へ出す



(全日本ろうあ連盟発行『わたしたちの手話 学習辞典』より転載・引用)
※解説には左右の表現を用いますが、手話は右手でも左手でも自分の利き手で表現できます。

問 福祉課 TEL 26-1228

お知らせ

五名ダム再開発事務所の 移転について

県が進めている五名ダム再開発事業の本格化に向けて体制を強化するため、ダムにより近い旧福栄小学校内に事務所を移転しました。

引き続き、五名ダム再開発事業の推進に御理解と御協力を賜りますよう、よろしく願います。

●移転した組織

県長尾土木事務所五名ダム再開発事務所

●移転先

〒769-2713

東かがわ市与田山351番地1

(旧福栄小学校内)

問 県五名ダム再開発事務所 TEL 27-2580

お知らせ

川や海的环境を守ろう 合併処理浄化槽へ転換を

単独処理浄化槽は、し尿だけを処理しており、炊事や洗濯で使った生活雑排水は未処理のまま流れます。また、単独処理浄化槽やくみ取り便槽は製造から年数が経っているため破損するリスクもあります。し尿と生活雑排水の両方が処理できる合併処理浄化槽への積極的な転換にご協力ください。転換する際は補助も受けられます。詳しくは市担当課にご相談ください。

既存の家の売却・購入、世帯主の変更など浄化槽の管理者が変わる場合や、転居や空き家で浄化槽を使わなくなる場合、空き家の取り壊しなどで撤去する場合は、それぞれ届出が必要です。届出に関しては香川県浄化槽協会にお問い合わせください。

補助金

問 都市整備課 TEL 26-1304

汲み取り、清掃

問 環境衛生課 TEL 26-1226

浄化槽の各種届出

問 香川県浄化槽協会

TEL 087-881-6600

お知らせ

放送大学入学生募集

放送大学では、10月入学生を募集しています。

幅広い世代の8万4千人以上の学生が、大学卒業や学びの楽しみなど、さまざまな目的で学んでいます。

授業科目は、心理学、福祉、経済、歴史、文学、情報、自然科学など、300以上があり、テレビやインターネットで1科目から学ぶことができます。

募集期間

第1回 募集中～8月29日(金)まで

第2回 8月30日(土)～9月11日(木)まで

その他

資料請求(無料)や詳細については、放送大学ホームページで確認してください。

問 放送大学香川学習センター

TEL 087-837-9877



お知らせ

所有地の適正な 管理について

「草木が生い茂っている」「ごみが捨てられている」「木がこちらに侵入してきている」など土地の管理ができていないことに関する相談が増えています。

管理をせずに放置していると草木が伸び、害虫の発生やごみの不法投棄を招くなど、周辺地域の生活環境に悪影響を及ぼします。土地の境界を越えて茂った草木などが原因で思わぬ事故が起こった場合、土地の所有者の責任になる場合もあります。

また、枯れ草や落ち葉などは火災の原因になる場合もありますので、除草をこまめに行ったり、防草シートで覆ったりするなど、適正に管理をしてください。

ご自身で管理が難しい場合は、業者へ管理を依頼するなど、近隣の迷惑にならないよう、自身の土地は適切に管理しましょう。

問 環境衛生課 TEL 26-1226

お知らせ

太陽光発電設備に関する相談窓口

太陽光発電設備でお困りのときは

近年、太陽光発電が普及する一方で、地域住民と太陽光発電事業者との間でトラブルとなるケースが全国的に増えています。

近くに設置された太陽光発電設備に関して、生活環境などに影響があつてお困りのときは、発電事業者または市環境衛生課にご相談ください。

不適切案件に関する情報提供窓口

国では、再生可能エネルギー事業のトラブル発生案件に対して、過度に不適切な案件については、必要に応じて発電事業者に指導などを行うための情報提供を求めています。

詳しくは、資源エネルギー庁ホームページ「なっとく! 再生可能エネルギー」の「不適切案件に関する情報提供」までお願いします。

問 環境衛生課 TEL 26-1226



お知らせ

東かがわ市定額減税 補足給付金(不足額給付) 支給事業

6年度に実施した「定額減税補足給付金(調整給付)支給事業」について、6年分所得税と定額減税の実績額などが確定した人で、6年度に実施した調整給付の支給額に不足が生じた人などへ給付金を支給します。

支給対象となる条件などについては、市ホームページをご覧ください。

◆支給対象者へは、7月中旬ごろに「支給通知書」または「支給確認書」を発送しています。

◆申請方法など

「支給通知書」が届いた人は申請不要

・公金受取口座を登録されている人または6年度に調整給付金を受給された人へは、支給通知書に記載されている口座へ支給します。

「支給確認書」が届いた人は申請が必要

・公金受取口座を登録していない人で6年度に調整給付金を受給していない人などへは、支給確認書を送付しますので必要事項を記入し本人確認書類などを添付の上、同封している封筒で返送してください。

給付金額について

問 税務課 TEL 26-1216

振込口座などについて

問 福祉課 TEL 26-1228



お知らせ

国民年金保険料の 免除申請

経済的な理由により、国民年金の保険料を納めることができない場合は、保険料を「免除」または「納付猶予」する制度があります。

7年度の申請を7月から受け付けています。免除期間は原則7月から翌年6月までです。前年度に引き続き免除を希望する人で、継続申請が認められていない人は、毎年申請が必要です。

申請月の2年1カ月前の月分まではさかのぼって申請することができます。手続きが遅れると申請できる期間が短くなります。

○手続きに必要なもの

・国民年金保険料免除・納付猶予申請書(申請書は長寿保健課または市民課各窓口にあります)

・年金手帳や基礎年金番号通知書など基礎年金番号が分かるもの、またはマイナンバーカードなど個人番号がわかるもの
・離職票、雇用保険受給資格者証など退職日を証明できるもの(会社退職により免除申請をする人のみ)

マイナポータルからスマートフォンで国民年金手続きの電子申請ができます。

ご利用に際しては、①スマートフォン、②マイナンバーカード、③利用者証明用電子証明書パスワード(数字4桁)をご用意ください。

問 市長寿保健課 TEL 26-1360

高松東年金事務所

TEL 087-861-3866

(自動音声案内②→②)

お知らせ

児童扶養手当の現況届は8月中旬に

児童扶養手当は、父または母のいない児童を養育している親などへ児童の健やかな成長を願って支給される手当です。受給するには申請が必要で一定の要件があります。

現在、手当を受給している人は子どもの養育状況や所得など引き続き支給要件に該当しているかを審査するために、8月中旬に現況届の提出が必要です。

この手続きをしないと、以降の手当を受けることができませんので必ず手続きをしてください。なお、現在支給停止になっている人も手続きが必要です。

※2年間手続きをしない場合、時効により受給権は消滅しますので、ご注意ください。

支給要件

次の①～⑥のいずれかに該当する子どもを、父または母が監護している場合に支給されます。

※個々のご家庭が支給要件に該当するかについては、こども家庭課にご相談ください。

①父母が婚姻を解消した

②父または母が死亡した

③父または母が重度の障がいの状態にある

④父または母の生死が明らかでない

⑤父または母が申し立てにより保護命令を受けた

⑥その他(父または母が1年以上遺棄している、父または母が1年以上拘禁されている、母が婚姻によらないで懐胎したなど)

受付日時 8月1日(金)～29日(金) ※土・日・祝日除く9:00～17:00

時間帯によっては、お待ち頂くこともあります。ご了承ください。

事前に連絡をいただければ、時間帯の調整も可能です。

受付場所 こども家庭課(2階 相談室) ※現況届は面談による受付となります。

持参するもの ※該当する人には、提出書類を送付しています。

◇児童扶養手当証書(サーモンピンク色)

◇養育費などに関する申告書

◇16歳以上19歳未満の控除対象者扶養親族に関する申立書

◇児童扶養手当一部支給停止適用除外事由届出書及び届出に係る添付書類

◇扶養義務者に関する調査票

◇その他

・別居監護している場合は「別居監護申立書」

・障害者手帳・療育手帳(該当者のみ)など

※受付期間中または時間内に来られない人は**必ず連絡してください。**

※手続きができるのは、**受給資格者(本人)**のみです。

※届出書の中で、勤務先名、住所、電話番号を記入する欄がありますので、あらかじめ調べておいてください。また、内職の人は内職の種類(職種)を、無職の人は生計維持方法を記入してください。

問 こども家庭課 TEL 26-1229

お知らせ

後期高齢者医療制度加入時の口座申請手続きについて

75歳になると、現在加入している国民健康保険や各社会保険(扶養)などから外れ、自動的に後期高齢者医療制度に加入することになります。

以前加入していた医療保険制度の保険料納付・医療給付の口座情報は引き継がれませんので、後期高齢者医療制度に加入された際には、次の手続きを推奨しています。

事前手続きが推奨されるもの

①保険料納付口座の申請(取り扱いのある金融機関窓口へ)

・事前に申請しておく、保険料が、年金から天引き(年金特別徴収)できない場合に、申請口座からの引き落としになり、窓口納付(普通徴収)の手間や、予期せぬ滞納や督促を回避できます。

②医療給付口座(高額療養費)の申請(長寿保健課、市民課各窓口へ)

・後期高齢者医療制度の高額療養費には、自動償還制度があり、1度支給申請すると、高額療養費該当時に、自動的に申請口座に振り込まれるようになり大変便利です。

※後期高齢者医療制度では、世帯主だけでなく被保険者ごとに口座を申請する必要がありますので、ご注意ください。なお、高額療養費以外の医療給付制度には、自動償還制度がありませんので、該当する場合に支給申請が必要になります。

問 長寿保健課 TEL 26-1360

香川県後期高齢者医療広域連合

TEL 087-811-1866

特化型介護予防事業

ぷらす・10(白鳥会場)参加者募集

「今よりもプラス10分〇〇しよう」という意識を持ち、専門的な指導を受けることで、元気なうちから楽しく健康維持に取り組むことを目的として、次のコースが受講できます。

元気で笑って生涯“元笑気(げんえき)”を目指して一緒に取り組んでみませんか?

コース① **運動と口腔ケア・栄養改善**(2時間コース)

講師(理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士)

コース② **脳を若くする脳若トレーニング**(1時間コース)

講師(脳若クラブ 認定トレーナー)

※どちらかコース1つのみの選択も可能

場所 白鳥コミュニティセンター

日程 9月～12月(月2回 金曜日)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
コース① 13:30～15:45	9月5日	9月19日	10月3日	10月17日	11月7日	11月21日	12月5日	12月19日
コース② 13:30～14:30	9月12日	9月26日	10月10日	10月31日	11月14日	11月28日	12月12日	12月26日

対象者 概ね65歳以上の市民

※ケガや病気での入院加療を要さず、要介護認定を受けていない人(要支援は可)

定員 各コース20人(定員に達した場合は、新規の人を優先)

参加費 無料

申込・問合せ先 市社会福祉協議会 TEL 26-1122

かがわマンモグラフィサンデー ～平日の受診が難しいあなたへ! 特別な1カ月～

働き盛りの世代の女性にがん検診を受診していただくため、乳がん月間である10月の日曜日などに協力医療機関や検診車で乳がん・子宮頸がん検診が受けられる、かがわマンモグラフィサンデーを実施します。

「平日の検診は難しい」という人は、ぜひこのチャンスに乳がん・子宮頸がん検診を受診しましょう!

検診車や一部の医療機関では、乳がん検診と子宮頸がん検診を一度に受診できます。

安心が見つかる



【協力医療機関での検診日程】

◆主催 香川県、東かがわ市

実施日	医療機関名	実施時間	乳がん定員	子宮頸がん定員	申込先※直接医療機関へ
10月 5日(日)	あさひクリニック	9:00～11:00	20	20	087-831-0280
	あらい乳腺クリニック	9:00～12:30	20	20	087-802-2234
		13:30～17:00	20	20	
	ササキメディカルクリニック	9:00～12:00	10	10	087-814-3339
	たけべ乳腺外科クリニック	9:00～12:00	40	40	087-867-0205
10月19日(日)	さぬき市民病院	8:30～12:00	12	12	0879-43-2524
	あさひクリニック	9:00～11:00	20	20	087-831-0280
		9:00～12:00	10	10	
		13:30～17:30	10	10	
	久米川病院	8:30～12:00	23	23	087-844-3111
		13:00～15:30	17	17	
10月26日(日)	屋島総合病院	8:30～12:00	23	23	087-841-9141
	香川県立白鳥病院	9:00～11:30	15	15	0879-25-4154
10月26日(日)	香川県予防医学協会健康管理センター	8:15～11:30	20	20	087-868-5555

申込方法

検診を希望する医療機関に電話もしくはインターネットの専用フォームでお申し込みください。受付は先着順です。定員になり次第、締め切りますので、お早めのご予約をお勧めします。受付開始は9月1日(月)、検診実施日の1週間前まで受け付けます。(これ以降はご相談ください)(医療機関および検診機関の受付時間内にお申し込みください)

○市に住民票のある40歳以上(子宮頸がんは20歳以上)の女性が対象

※ただし、クーポン券対象者以外は2年に1回の受診

○市から送付した乳がん・子宮頸がん検診の受診券が必要(クーポン券対象者はクーポン券も必要)

※料金

【乳がん検診】2,000円

【子宮頸がん検診】1,000円

(クーポン券対象者は無料)

○すでに市の人間ドックや他の日程で申し込まれている人は受診できません

検査結果について

○医療機関で受診した人→受診した医療機関で確認してください

○集団検診を受診した人→結果を郵送します

○検査結果が要精密検査の人は、必ず精密検査を受けましょう

【検診車での検診日程】 乳がん検診と子宮頸がん検診を一度に受けられます!!

実施日	実施会場	実施時間	乳がん定員	子宮頸がん定員	申込先
10月13日(月・祝)	イオンモール横川	10:00～11:30	20	90	①インターネット(専用フォーム) 【24時間対応】 ②TEL 087-881-6309 (公財)香川県総合健康診協会 受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00 ※電話は混雑する恐れがあります。 可能な限りインターネット予約にご協力ください。
		13:30～15:00	25	90	
10月25日(土)		10:00～11:30	20	90	
		13:30～15:00	25	90	
		17:00～18:30	20	90	

県健康政策課

問合せ先 TEL 087-832-3261

市長寿保健課 TEL 26-1360

食中毒を予防しましょう!

○食中毒ってなに?

食中毒は、原因となる細菌やウイルスなどがついた食べ物を食べることによって、下痢、発熱、吐き気などの症状が出る病気のことです。

細菌による食中毒発生のピークは、高温多湿で細菌が繁殖しやすくなる夏場ですが、ウイルスによる食中毒は冬場に多く発生しています。また、キノコやフグなどに含まれる毒成分を間違えて食べることによって食中毒になることもあります。食中毒を起こす細菌は、土の中、水、ヒトや動物の皮膚や腸の中にも存在していて、特別な菌というわけではありません。そのため、食品を作る途中で菌がついてしまったり、料理したものを暖かい部屋に長時間置いたりすると、細菌が増えてしまいます。

ときには命にも関わる食中毒を防ぐため「食中毒予防の三原則」を心がけましょう。

○食中毒予防の三原則

①細菌をつけない

- ・調理前や使用後などはこまめに手を洗う
- ・野菜など生で食べるものは、流水で十分に洗う
- ・食品の保管の際は、他の食品に付いた細菌が付着しないよう、密閉容器に入れたり、ラップをかけたりする など



②細菌を増やさない

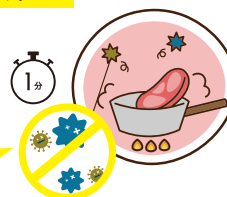
- ・材料は新鮮なものを選ぶ
- ・生ものや調理したものは早めに食べる
- ・冷蔵庫内は10℃以下に保ち、正しく管理する など



冷蔵庫は10℃以下!

③細菌をやっつける

- ・料理したものを温めなおすときは、十分に加熱する
- ・また、調理済みのレトルト食品や冷凍食品もよく加熱する
- ・食器や調理器具の熱湯消毒をする など



中心部を75℃で1分以上加熱!
(ノロウイルス対策では85～90℃以上で90秒以上加熱)

気になる症状があるときは早めの受診を!

食中毒を疑う症状(おう吐や下痢など)が出た場合、それは原因物質を排除しようという体の防御反応です。下痢止めや吐き気止めの薬を服用せず、早めに受診して医師の指示に従うことが大切です。

問合先 長寿保健課 TEL 26-1360

讃歩みち

大相撲ファンが騒いでいる。

角界あげてお祭りモードだ。スーパースター大の里(25)が新横綱になって待望の2人横綱で「大豊時代」へ大の里豊昇龍が実現したからだ。これで土俵人気はますますヒートアップ、令和の黄金時代が見えてきた。

実はこの角界とは妙な縁があって、場所が近づくにあの「やぐら太鼓」が懐かしい思い出を連ねてくる。

「やぐら太鼓」の…

新聞記者になったばかりだった。担当のベテラン記者が急病で「あしたから15日間、大阪場所に張り付け」とデスク命令。大相撲など見たこともなかったが、なにせ高度成長真っ盛りで、角界も「柏鵬時代」へ柏戸・大鵬の全盛期だった。びびっているひまもない。そんなときは、やみくもに走りまわって聞きまくる。それが記者のイロハのイだとは教わっていたので、初日から支度部屋の廊下で問ひまくった。

そのとき出会ったのが行司志願だった尾崎信雄さん(1919～2013)で生まれも育ちも志度町。同郷だと知ると「親戚みたいなもんじゃの」と相撲の

有りようから取材方法まで、それこそ相撲のイロハをたたき込んでくれた。いっぱしの通ぶって、相撲を語れるのはこの人のおかげ。のちの立行司、24代式守伊之助さんだ。

そればかりか「この人も同じ身内(同郷)ぞ」と引き合わせてくれたのは当時NHK相撲解説者で有名だった神風さん(元関脇、1921～1990)本名、赤沢正一さんだった。場所後も何度かお会いしたがとにかく故郷の話が好きで、三本松の魚屋さんで生まれ、小学6年で全国健康優良児に選ばれ、そのまま三所ノ関部屋に入門したことなど、幼い日のエピソードや町の様子を語るときは神風さんの目はうるうるとして優しかった。早く入門したぶん、ふる里への想いが強かったように見えた。

人生は出会い、というけれど、思い返せば偶然というより奇跡のような出会いだった。あとき『ほんでのう』などと言う讃岐弁の接続語を知らないかったら、お2人とのあの打ち解けはなかったと思う。

そういう意味では方言や田舎訛りって、ときに光り輝いて、人生の道しるべにもなるんだと知った。

(コラムニスト・内立院 翔)

おめでた

氏名(敬称略)

保護者

地区名

清水 望愛(美孝) 落合

中川 愛(康矩) 三本松

松下 彩芽(亜真人) 小磯

三好 生吹(純矢衣恵) 西村

「おめでた」「おくやみ」欄の掲載を希望する場合は、「掲載申込書」を市民課各窓口へ提出してください。
掲載は申込書提出月の翌々月号になります。

問合せ 市民課 TEL 26-1111

東かがわ市 人の動き

7月1日現在常住人口

()内は前月比

世帯数 11,577世帯(+1世帯)
総人口 25,439人 (-31人)
男 12,019人 (-20人)
女 13,420人 (-11人)

6月中の異動

転入 36人 転出 32人
出生 5人 死亡 40人

6月の市管内の 事故などの発生件数

人身事故 6件(34件)
うち死亡 0件(0件)
救急 130件(920件)
火災 0件(13件)

※()内は1月からの累計

おくやみ

氏名(敬称略)

年齢

地区名

米田 キミコ (94) 松崎

滝 タユコ (90) 大谷

田中 笑子 (94) 白鳥

福光 秀海 (88) 白鳥

奥井 康明 (40) 馬宿

岡田 週二 (86) 松原

玉置 務 (100) 中山

宮脇 信子 (88) 西村

砂川 クミエ (98) 川東

三浦 英二 (88) 引田

大西 恵美子 (84) 松原

宮田 俊雄 (84) 小砂

六車 浪男 (85) 三本松

出晴 勝江 (96) 吉田

黒田 須江子 (93) 町田

六車 香月 (78) 松原

坂東 修 (76) 南野

木村 久男 (82) 湊

田中 昭夫 (96) 白鳥

谷 勉 (86) 松原

三谷 勲 (61) 引田

宮西 道子 (95) 南野

ちょっと ギャラリー

今月のテーマ「瀬戸内国際芸術祭」

次月からのテーマ ▶9月号「敬老の日」(7月31日(木)必着) ▶10月号「食欲の秋」(8月29日(金)必着)



あおい



じゅん



かなで



泰ちゃん



緑木くんの日



まゆこ



けい



ソバカスくん

応募方法

広報はおたよりを募集しています。

「文芸コーナー」「投稿ニュース」
「ちょっとギャラリー」「KIDS!キッズ!KIDS!」
各係宛まで

宛先 〒769-2792 (住所記載不要)
戦略情報課 広報東かがわ〇〇係
E-mail kouhou@city.higashikagawa.kagawa.jp

◆今月の表紙◆
ハワイの子どもたちと市内の小学生や地域の人たちと楽しそうに交流する様子。

◆編集後記◆
6月、ハワイの子どもたちが東かがわ市にやって来ました。昨年度の中学生海外研修をきっかけに始まったこの交流。東かがわ市の子どもたちはどんなリアクションをするのだろうと楽しみにしながら取材に伺いました。取材当日、ハワイの子どもたちと共に学校を訪れると、校舎に入る前から聞こえる割れんばかりの拍手で出迎えられました。対面後には恥ずかしがりながらもハワイの子どもたちに駆け寄って話しかける子どもたち。その積極的な姿に英語の不得意な私は終始驚かされるばかりでした。東かがわ市は7月末、万博に出展しますが、私も子どもたちを見習って万博会場で海外の人に積極的に声をかけていきたいと思いました。

●紙面の都合で、お寄せいただいた原稿を掲載できない場合があります。ご容赦ください。

広報紙配布に関する問合せ NTTタウンページ(株) TEL0120-030-702 営業時間9:00~17:00(土・日・祝日除く)